

2 にぎわう上市

変化と継承へのチャレンジで“にぎわう”産業・基盤

にぎわう1 産業

1-1 農林業の振興



現状と課題

- 農林業の持続的な発展には、地域ぐるみで担い手を育成し、外部からの人材受け入れと定着支援を強化することが不可欠です。担い手による農地集積は限界に達しており、今後は集落営農組織や農事組合法人同士の連携強化、第三者間での経営継承の推進、そして新規就農者が地域に根付くための支援体制の整備に加え、スマート農業*などの新技術の導入を通じて、効率的かつ魅力ある農業経営の実現が必要です。
- 林業においては、県の森づくりプラン*に沿った整備が進められているものの、地域住民の高齢化や担い手不足により、継続的な活動が困難になりつつあります。災害防止の観点からも、地域ぐるみの支援体制の再構築が急務です。また、有害鳥獣による被害は依然として深刻であり、継続的かつ柔軟な対策が求められます。

ミライの上市

持続可能な生産性の高い農林業が展開され、各産出物の販路も多様化・拡充されています。

数値目標

指標	基準値	目標値
50歳未満の新規就農者数【総合戦略】	7人 (R3~R6)	10人 (R8~R12)
6次産業化を行っている事業者数	2社	4社
農産物の販路拡大を実現した事業者数	1社	3社
スマート農業を実施している担い手農業者数	5経営体	10経営体

コメント1 Coデザ

重点施策が更新され、特に「担い手の育成」「地域ぐるみの支援」「デジタル技術の活用」「地元産業のミライへの継承」などが強調されています。これに対し、現状と課題の記述は旧来の「農地集積」「認定農業者の限界」などととどまっていることから、前述の要素を盛り込みました。

コメント2 Coデザ

「拡大されています」だけでは変化の方向性が単一で抽象的なため、「多様化・拡充」という具体的な言葉を加えることで、販路の広がりや質的にも量的にも進展していることを表現しました。



指標	基準値	目標値
学校給食での地元食材利用率【総合戦略】	14.3%	16.0%
間伐の実施面積	89ha	345ha
鳥獣害による被害の軽減（イノシシ）		
被害面積	4.57ha	3.43ha
被害量	24.1t	18.5t
被害金額	498.8万円	363.8万円

施策の内容

<p>1-1-1 担い手の確保・支援</p> <p>にぎわう上市 ウ</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域内の農業者だけでなく、U I J ターン*による町外も含めて地域外の人材など多様な農業及び食育の担い手の確保を推進するとともに、農業技術の習得のための支援や、研修を希望される方を高収益作物栽培や有機農法の活用などに取り組む先進農家へ紹介するなど、持続可能な担い手の育成に取り組みます。 ○ 農産特産物のブランド化を推進し担い手の所得向上を図るとともに、里芋など上市ブランドの安定生産を支援します。 ○ 新規就農希望者と農業法人等とのマッチングや就農促進に向けた取組を支援し、地域農業の次世代を担う人材の確保・育成を図るとともに、円滑な経営継承を支援します。 ★ 森林施業の従事者や施業プランナー*、現場管理責任者等の人材の確保と育成を図るとともに、育成に時間を要することを踏まえた中長期的な支援体制を構築します。
<p>1-1-2 生産性向上に向けた取組</p> <p>にぎわう上市 イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業生産を更に向上させ、競争力を強化するため、農地の集積・集約化や、ロボット技術、ICT等の先端技術を活用したスマート農業の導入などにより生産性の向上を支援します。 ○ 持続的で効率的な林業経営に欠かせない林道や林業専用道及び森林作業道の整備を推進するとともに、高性能機械の導入を推進します。
<p>1-1-3 森林資源の保全と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林の状態や立地条件、地域ニーズ等を反映した森づくりを基本としつつ、木材生産の増大に向け、森林施業の集約化を進めます。 ○ 水源の涵養や地球温暖化の防止などを図るため、間伐*、枝打*、下刈*等を適切に進め、健全な森林環境の整備を推進します。 ○ 森林環境譲与税を財源とした間伐や路網*等の森林整備のほか、搬出材の有効活用に努めます。
<p>1-1-4 有害鳥獣対策への支援の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有害鳥獣の駆除を担う人材の育成・確保に努めます。 ○ 上市町鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の捕獲に努めます。 ○ 鳥獣による被害を受けた集落に対し、町有害鳥獣対策協議会からの技術的・経済的支援を行います。

個別施策

コメント 3 Coデザ

★→○

コメント 4 Coデザ

「森林施業プランの数値が現実的でない」

「人材確保が困難」との現状を踏まえて、施業プランナー等の育成には時間がかかる前提のニュアンスに変更しました。

コメント 5 Coデザ

★→○

コメント 6 Coデザ

★→○

2

主な取組

- 農業生産基盤整備事業
- 農業経営体支援事業
- 多面的機能支払事業
- 優良農地確保事業
- 森林環境整備事業
- 林業担い手及び事業体の育成
- グリーンツーリズム事業
- 農産特産物振興事業
- 中山間地域活性化事業
- 食育・地産地消奨励事業
- 林道・作業道整備事業
- 水と緑の森づくり事業
- 有害鳥獣対策事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- さともやしょうがなど、地元産品の魅力を SNS や動画配信等を活用して町外へ積極的に発信し、地域ブランドの認知度のさらなる向上を図ります。
- 農業や農地・森林の保全に対する意識を養います。

コメント 7 Coデザ1/20
検討結果を反映

【地域・団体・事業者等】

- 農地・森林の保全や、未来技術の活用による作業の効率化、担い手の確保と育成、有害鳥獣対策を行うなど、地域の農地・森林は地域で守ることに努めます。
- 生産者・消費者・加工業者・流通業者・販売業者の連携による6次産業の振興を図ります。
- 令和5年に町花として位置づけられた薬用シャクヤクの地域ブランド化に向けた取り組みとして、まずは生産者が継続的に栽培できる生産体制の構築及び産地化を進めていきます。

コメント 8 Coデザ1/20
検討結果を反映

関連する計画・条例等

- 上市町森づくりプラン
- 上市町鳥獣被害防止計画
- 地域計画（農業経営基盤強化促進法に基づく計画）

コメント 9 Coデザ
人・農地プラン（実質化された人・農地プラン）→地域計画（農業経営基盤強化促進法に基づく計画）に修正



シャクヤク（町花）



おおかみこどもの森づくり



1-2 商工業の振興



現状と課題

- 人材確保・育成に関しては、「はたらくらすコネクション事業」や「コーチング*事業」に加え、地域おこし協力隊の活用や起業支援、生活支援体制の整備など、地域産業の担い手を誘致・育成する取り組みが進められています。これらに加え、地元企業との連携や、若者向け・移住者向けの情報発信を強化するとともに、個人の技能取得に対する支援を促進するなどにより、地域に定着し、持続的に活躍することができる人材の育成が求められます。
- 本町には、旧来からの主力である繊維・医薬品関連企業をはじめ、製造業等の企業が多数立地し、地域産業の基盤を形成していましたが、業界の動きが激しく、構成が大きく変わりました。建設業においては、公共事業や住宅需要の動向に左右されるため、既存業者の事業拡大や異業種との兼業支援が引き続き重要です。また、商業・サービス業では、購買力の低下・流出が課題となるなか、まちなかの賑わい創出やイベント開催、空き店舗の活用、起業支援、特産品のプロモーションなどが進められています。上市スマートインターチェンジや鉄道などのインフラを基盤に、企業誘致や起業支援、デジタル環境の整備、地域資源を活かした情報発信による認知向上など、官民連携による商工業振興策のさらなる展開が求められます。

ミライの上市

地域産業の担い手が育成・定着し、各事業者が持続的に活躍することで、上市町らしい賑わいや地域の活力が生まれています。

数値目標

指標	基準値	目標値
事業承継支援（窓口対応、相談等を含む）件数	—	15件 (R8～R12)
企業立地助成件数	5件 (R3～R7)	5件 (R8～R12)
創業件数【総合戦略】	16件 (R3～R7 見込)	20件 (R8～R12)

施策の内容

- 1-2-1 勤労環境の向上
 - ★ 移住・定住策として、町内の企業や雇用の紹介に加え、住宅取得への支援、働く場の創出、まちのにぎわいの向上を組み合わせた包括的な支援を推進します。

個別施策

2

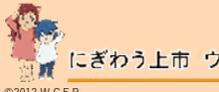
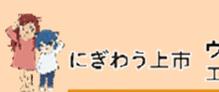
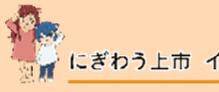
コメント 10 Coデザ
地域おこし協力隊や起業支援が重点施策となっており、人材不足や企業支援体制の充実が求められることからニュアンスを調整しました。スマート IC や鉄道などのインフラを重要な基盤と捉え、空き家バンク、イベント、KAMIICHI チャレンジプロジェクトなどの新たな取組も推進していることを反映しました。

コメント 11 Coデザ
競争力という表現は企業視点であり、地域活性化の文脈では「持続的な活躍」の方が適切と判断しました。また、地域の特色を活かすという重点施策の方向性に合わせ、「上市町らしさ」を強調しました。

コメント 12 Coデザ
町外からの誘致のみならず町内企業の増設にも企業立地助成金は交付されていることから、町内外事業者の助成件数を指標としました。

コメント 17 Coデザ
○→★（趣旨変更）

コメント 16 Coデザ
アンケート結果では「移住・定住促進」は満足度が向上している唯一の施策であり、重要度も増加していました。ただし、課題感「強」の住民は「住宅購入・家賃支援」「働く場の創出」「まちのにぎわい」を重視していることから、もとの雇用に加え、住居やにぎわいの文脈を追加しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内の事業所における就労状況の把握に努めるとともに、関係機関と協力しながら、適正な就労条件の確保や就労環境の向上を働きかけます。 ○ 仕事と子育て、仕事と介護等の両立を支援するため、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の両立）、育児休業や介護休業等について、事業所や町民に広く啓発を行います。 ○ 発達障害者を含む障害者の労働について理解が深まるよう、事業所や町民に広く啓発を行います。 ★ 官民連携で「まちづくり」「ファンづくり」「ひとづくり」を進め、経済が循環するまちづくりを目指します。
<p>1-2-2 経営基盤への支援</p>  <p>©2012 W.C.F.P</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内事業者に対し、経営の後方支援を行うため、商工会と連携して引き続き各種助成制度の創設や活用の促進により、人材育成、設備投資等を支援します。 ○ 町内事業者に対し、事業承継を後押しする補助制度による支援を行います。 ○ 関係機関と連携して、災害や感染症拡大等の非常時に対応した、事業所の事業継続計画（BCP）の策定を支援します。
<p>1-2-3 起業への支援と企業誘致</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 町内で起業をチャレンジする方を支援するとともに、中心市街地の空き店舗活用や地域商業との連携を強化し、まちのにぎわいの創出につなげます。 ○ 既存の枠を超えた新しい地域産業を創発するため、町の地域資源を生かし、産学官金労言士連携と産業間の連携強化、最新技術の社会実装に取り組むことにより、新事業の創出や販路拡大を支援します。 ○ 上市スマートインターチェンジを基盤とした企業誘致を推進し、新しい働く場を創出します。
<p>1-2-4 商業・サービス業の魅力向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内の商店・サービス業への利用促進を図るため、買い物支援や商品開発、販路拡大の取組を支援します。 ○ まちなか交流プラザ（カミール）について、テナント入居者対策や子育て支援機能の充実等で魅力向上を図り、町中心部のにぎわいにつなげます。

コメント 15 Coデザ
★→○

コメント 14 Coデザ
★→○

コメント 13 Coデザ
★（新規項目）

コメント 18 Coデザ
★→○

コメント 22 Coデザ
○→★（趣旨変更）

コメント 21 Coデザ
アンケートより「中心市街地のにぎわい」に対する課題感が非常に強く、満足度が低いことが判明しています。起業支援だけでなく、地域商業との連携や空き店舗活用などが求められていることから、これらを含めた表現に変更しました。

コメント 20 Coデザ
★→○

コメント 19 Coデザ
★→○

主な取組

- 人材育成事業
- 創業支援事業
- 企業立地奨励事業
- 特産品開発支援事業
- 工業団地造成事業
- KAMIICHI チャレンジプロジェクト推進事業
- 中小企業融資制度等の拡充
- 事業承継の支援
- 本社機能立地支援事業
- まちなか交流プラザ（カミール）の魅力向上
- はたらくらすコネクション推進事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 地元の商店街や飲食店の利用を通じて、地域のにぎわい創出に積極的に参加します。

【地域・団体・事業者等】

- 商工会・金融機関等は、関係機関・団体と連携しながら、地元事業者の経営改善及び起業の支援を行います。
- 女性の働く場の確保等、事業者や関係機関と連携し女性の活躍する社会の実現に向けた取組を行います。
- 学校は、事業者と連携して社会見学・14歳の挑戦等のキャリア教育を推進し、地域の次代を担う人材育成に協力します。



市姫さんど



カミワンパーク



14歳の挑戦



みやげ処「味蔵」

コメント 23

Coデザ

消費だけでなく、にぎわい創出への貢献の観点を加えました。

個別施策

2

1-3 観光・交流の拡充



現状と課題

- 観光・交流では、町の宝である自然・歴史・伝統文化・産業を見つめなおし、町民や上市町に関わるすべての人々を大きなわ（輪、和、環）でつなぐという「上市まちのわ宣言」に基づき、町の宝である自然・歴史・伝統文化・産業の魅力を再発見・再定義し、観光資源の開発、情報発信と誘客、観光・交流しやすい環境の整備・充実等、町民や関係者をつなぐ取組を進めてきました。特に、本町出身のアニメーション映画監督である細田守氏の作品「おおかみこどもの雨と雪」の舞台のモデルとなった「花の家」を管理する団体への支援、フォトロゲイニング大会や上市町の自然に直接触れるトレッキングツアー*などといったエコツーリズムの展開、町出身首都圏在住者のコミュニティづくりの支援など、数多くの魅力づくりに取り組んでおり、上市ブランドの構築、SNS等を活用した情報発信力の強化などにより、「訪れたい・会いたい人がいる町」としての認知向上が図られています。また、公共交通機関との連携による受入れ体制の整備や、地域資源を活かしたイベントの開催など、交流人口・関係人口の創出に向けた基盤づくりが進んでいます。今後は、町民自身が魅力を発信する仕組みの構築や、地域資源の磨き上げによる持続可能な観光の展開が求められます。

ミライの上市

訪問者が「行ってみたい」「来てよかった、また来たい」と感じられるような魅力的な地域資源が整備され、町民との温かな交流が自然に生まれています。

数値目標

指標	基準値	目標値
年間観光入込客数	626,276人	10%増 (R12末)
交流人口（イベント・体験型イベント参加者数）（年間観光入込客数より再掲）	128,736人	5%増 (R8～R12)
SNS 発信件数	8.1万件 (R7.11月現在)	8.6万件 (R12現在)

施策の内容

1-3-1 上市町の魅力発信 にぎわう上市イ	○ 観光推進の中心となる町観光協会とともに、町民や訪問者が町の魅力に気づき、広めてくれる上市ファンを増やすため、継続的に観光資源の魅力発信に努め、リピーターを含めた交流人口、関係人口の拡大に努めます。
------------------------------	--

©2012 W.C.F.P

コメント 24 Coデザ

上市町独自の取り組みについては残しつつ、総合計画では「上市ブランドの構築」「受け入れ体制の強化」「地域資源の磨き上げ」「SNS等を活用した情報発信」など、新たな施策や成果が複数挙げられていることを踏まえて表現を一部修正しました。

コメント 25 Coデザ

「魅力的な地域資源」と「町民との交流」という2つの要素を並列に扱い、それぞれが将来像の構成要素であること明示する表現に修正しました。

コメント 26 Coデザ

町民との交流イベントも多く実施していることから地域との関係性の深さを測る指標として設定します。

コメント 27 Coデザ

観光情報に留まらない、上市町の魅力発信を含む表現に修正しました。



©2012 W.C.F.P

	<ul style="list-style-type: none"> ○ マスコミや冊子、SNS、町民・本町訪問経験者からの口コミ、観光大使や町出身首都圏在住者からの情報発信等多様な手段による情報発信に取り組みます。
<p>1-3-2 上市ブランドの育成と展開</p> <p>にぎわう上市 イ</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 県内外の大学などと連携し、本町が舞台モデルのまちである『おおかみこどもの雨と雪』を活かした観光ブランド戦略を推進します。 ★ 大岩山日石寺、馬場島や森林セラピー、剣岳の氷河、立山黒部ジオパーク等の地域資源の磨き上げと交流促進、既存観光資源の再価値化とプロモーション強化を図ります。 ○ 新たな観光資源に対して、案内板や周辺道路の整備・修繕、周辺環境整備等を行います。
<p>1-3-3 関係人口・観光客の受け入れ体制充実</p> <p>にぎわう上市 エ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共交通機関との連携による二次交通活用の検討と周知、イベントとの連携や案内体制の強化を行います。 ○ 町民が町の魅力を発信する「ふるさとガイド」の育成を推進します。 ○ 感染症対策を含む衛生・安全体制の整備による安心して訪問できる環境づくりを行います。 ○ 町民と参加者が一緒に楽しみ、盛り上げていくイベントを開催していきます。 ○ 町の資源を活かしたワーケーション*環境の整備を支援します。 ○ 町外の大学、企業等が行う合宿、研修等を誘致し、交流人口、関係人口の拡大に努めます。

コメント 28 Coデザ
総合計画では、上市ブランドは「地域資源の磨き上げ」「特産品の高付加価値化」「観光・交流人口の拡大」など、多面的な戦略として位置づけられており、単なる構築ではなく、育成・展開を踏まえた表現に変更します。

コメント 29 Coデザ
総合計画では具体的な事業や取り組みが記載されており、観光資源としての活用や情報が重要視されていること、またアンケートでは観光振興の満足度が低く、重要度が高いことから、住民の期待に応える施策としてより明確な表現に変更しました。

コメント 30 Coデザ
対象が不明確で、具体的な方向性が伝わりにくいため、具体化した表現に修正しました。

コメント 33 Coデザ
★→○ (言い回しのみ)

コメント 31 Coデザ
公共交通についてはより具体化した表現に修正しております。また、コロナ禍に特化している印象から今後の持続的な衛生安全対策として表現を修正しました。
総合計画では「空き家活用」などと連携しており、単なる場所提供ではなく、働く環境の整備や支援が含まれます。

コメント 32 Coデザ
★→○ (言い回しのみ)

コメント 34 Coデザ
10周年を契機として開始したプロジェクト事業に記載変更しました(総合戦略にも計上)。

個別施策

2

主な取組

- エコツーリズム推進事業
- 森林セラピー推進事業
- 公共交通の連携事業
- ふるさとガイド育成事業
- 宿泊・滞在機能強化事業
- 交流人口拡大環境整備支援事業
- 自然観光資源活用事業 (フォトロゲイニング大会運営事業)
- 大学連携事業
- 町民参加型のイベント開催
- 観光客向け二次交通整備事業
- 観光協会機能強化事業
- 大学、企業等の合宿、研修等誘致事業
- かくれた魅力発掘及び発信事業
- ワーケーションの推進
- おおかみこどもの森づくりプロジェクト



フォトロゲイニング®
上市まちのわ

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 自分の住むまちに誇りを持ち、町の魅力を語り、SNS や口コミで発信するなど、住民が観光の担い手となる活動を推進します。

【地域・団体・事業者等】

- 美しい自然や町並みの景観保全や環境美化を、地域ぐるみで取り組みます。
- 地域の祭りやイベントを、民間や外部団体と連携して企画・開催し、交流人口の拡大を図ります。
- 外国人観光客の受け入れに向けて、多言語対応や接客研修などの体制整備を進めます。

関連する計画・条例等

- 上市町エコツーリズム推進全体構想



杉並木



東洋大学インターンシップ

コメント 35 Coデザ

PR するという曖昧な表現からより具体化した表現に変更しました。

コメント 36 Coデザ

住民参加型の観光推進を明確にすることで、町民の役割が伝わりやすくするため具体的な表現に変更しました。



にぎわう 2 基盤整備

2-1 移住・定住支援の強化



現状と課題

- 本町では、移住・定住の促進を目的に、町に住民登録があり、町内事業所で働く若年層の奨学金の返済を支援しているほか町内での三世同居による「孫育て参加」の奨励、移住希望者に本町での暮らしぶりを体験してもらう「上市暮らし体感プログラム」の実施、若年世帯における住宅の新築・購入費用と新築に併せた太陽光発電装置等の設置に対する一部補助を行ってきました。これらの施策により一定の成果は見られるものの、人口減少傾向は続いており、特に子育て世代の転入・定住には至っておらず、地域ぐるみの子育て支援、地元高校との連携による人材育成など、ライフステージに応じた支援の充実が求められています。
- 今後は、単なる施策の提供に留まらず、地域全体で子育てを支える仕組みの構築、ICTの活用による教育・行政サービスの効率化、地域資源を活かした雇用創出など、持続可能なまちづくりに向けた総合的な戦略の展開が必要です。

ミライの上市

移住希望者が充実した移住支援、結婚・生活支援を受けることにより「移り住んでよかった」と実感しています。

数値目標

指標	基準値	目標値
移住施策を活用した町外からの移住件数 (空家バンク*・新築補助金利用件数等を含む)	108人 (R4~R6平均)	500人 (R8~R12)
婚活イベントマッチング数	63組 (R2~R6)	30組 (R8~R12)



地域おこし協力隊

個別施策

コメント 37 Coデザ

重点施策では、「こどもまんなか社会」や「地域ぐるみの子育て支援」「地元高校との連携」「地域資源を活かした雇用創出」など、より広範で包括的な支援体制の構築が打ち出されています。またアンケート分析から見える新たな課題として、移住・定住支援は一定の成果を出しているものの、子育て世代の不満(教育・医療・保育の不足)や、デジタル化・情報発信の遅れ、地域資源の活用不足などが浮き彫りになっていることから、課題として盛り込みました。

2

施策の内容

<p>2-1-1 移住・定住促進への支援</p> <p> つながる上市 ア にぎわう上市 エ</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<p>○ 移住PRイベントや交流事業等において、空き地・空き家・雇用・生活に関する情報提供・相談事業を行うほか、本町での暮らしの体験や地域住民との交流を通じて、移住希望者が安心して定住できる環境づくりを推進します。</p> <p>○ 共働き・子育て世代をターゲットに、移住後の生活支援や子育て環境の充実を図るとともに、空き地・空き家等の利活用を促進し、行政サービスの創出と情報発信の強化により、定住促進を図ります。</p> <p>★ 都市部事業者と町内事業者の連携により町民が新たな事業・サービスを楽しむ環境を整え、移住・定住の促進につなげます。</p> <p>○ 首都圏在住の上市町出身者らによるコミュニティ「上市町首都圏同窓会（かみのわ）」による情報発信等を支援し、首都圏における町を応援する人口の維持・拡大を図ります。</p> <p>★ 地域活性化起業人や地域おこし協力隊など多様な人材の力を活用しながら、上市町ならではの魅力を活かした地域づくりを進め、交流人口拡大や地域のにぎわいづくりにつなげます。</p> <p>★ 移住・定住を促進するための支援策の充実を図り、安心して暮らし続けられる環境づくりを進めます。</p>
<p>2-1-2 結婚支援</p> <p> つながる上市 ア</p>	<p>★ 結婚を希望しながら未婚となっている男女に対し、事業者とも連携して、未婚の男女が結婚相手に出会う機会を拡充します。</p> <p>★ 結婚相談所における窓口相談やお見合いのセッティング、結婚までのサポートに加え、結婚後の住居支援や地域定着支援も含めた継続的な支援を実施します。</p> <p>○ 婚活イベントを継続して実施します。</p>

コメント 40 Coデザ

空き家バンクや0円空き家制度の活用が進んでいる一方で、情報発信の不足や移住後の支援体制の課題が指摘されており、また「地域ぐるみの子育て支援」「生活支援体制の整備」が新たな方向性として示されていることから、これらのニュアンスを強調しました。

コメント 39 Coデザ

○→★（趣旨変更）

コメント 38 Coデザ

★→○

コメント 42 Coデザ

○→★（趣旨変更）

コメント 41 Coデザ

「ライフステージに応じたきめ細やかな支援」が期待されており、結婚後の支援も含める必要があると考えました。

主な取組

- 移住・定住情報発信・支援体制強化事業
- 都市部事業者とのマッチングツアー
- 民間住宅団地造成事業
- 若年世帯定住促進事業
- 住宅リフォーム助成事業
- 空き家情報提供事業
- 地域おこし協力隊事業
- 地域活性化起業人事業
- 地域プロジェクトマネージャー事業
- 地域ぐるみ移住・定住者支援の推進
- 結婚支援事業
- 移住定住促進事業（補助金の充実）

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 移住者に対して、あいさつや声掛けなど、地域の一員として温かく迎えます。
- 移住者は、地域活動などに積極的に関わり、地域住民として進んでとけ込むよう努めます。

基本目標 2 にぎわう上市
変化と継承へのチャレンジで“にぎわう”産業・基盤



【地域・団体・事業者等】

- 移住者に対する移住前・移住後の相談や情報提供、地域の中でのつながりづくりなどのサポートをきめ細かく継続的に実施します。
- 町内会、事業者、学校等が連携して、上市町での暮らしや環境のよさを情報発信していきます。
- 事業者は、U I J ターンにつながる面接相談会の開催・情報提供を積極的に行います。

個別
施策

2

2-2 生活環境の充実



現状と課題

- 住宅については、町営住宅の整備と適正な維持管理に加え、空家バンクの運営や0円空家バンク*の活用、移住・定住支援策の拡充により、若年層や子育て世代の定住促進を図っています。今後は、空き家の利活用を通じた地域活性化や、移住者との地域コミュニティ形成支援にも力を入れる必要があります。
- 町内にある公園は、町内会と行政で分担して管理を行っており、利用にあたってのマナーを呼び掛けながら、地域ぐるみで管理に努めることが大切です。
- 水道は、主要施設である眼目配水場、丸山配水場の耐震化を実施したほか、老朽管対策として、漏水等が頻発している配水管の布設替えを行うとともに、令和元年度に策定した配水管更新計画に基づき、優先度の高い配水管の計画的更新を進めています。また、AI等による漏水検知技術の導入可能性も検討し、水道水の安定供給を図る必要があります。
- 下水道は、管渠や浄化施設などの整備が一段落しており、今後は効率的な運営と維持管理が必要となります。
- 斎場や墓地については、今後も適正な維持管理に努めていく必要があります。

ミライの 上市

住居、公園、上・下水道、墓地・斎場に関する事業が着実に推進され、安全・快適な生活環境が保障されています。

数値目標

指標	基準値	目標値
空家バンク・0円空家バンク成約件数	47件 (R4~R6)	75件 (R8~R12)
水道の有収率	80.9%	85.0%



0円空家バンク

コメント 43 Coデザ

空家バンクの活用や空き家イベントの開催、移住者支援の強化が進められており、またアンケート結果でも、移住者の増加や空き家活用への期待が見られることから盛り込みました。AI漏水検知技術の関心が高まっており、他市の事例を参考に検討中であること、また、水道の有収率が課題として挙げられており、漏水対策の強化が求められていることを盛り込みました。

コメント 44 Coデザ

空家バンクの目的は「空き家の利活用」や「移住・定住促進」であり、登録件数よりも成約件数の方が、より施策の成果をよりの確に反映すると考えました。



施策の内容

<p>2-2-1 良好な住環境の確保</p> <p>にぎわう上市 エ</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町営住宅については、適切な維持管理に努めます。また、家賃の低廉化や子育て世帯に配慮した環境づくりに努めるなど、利用しやすい住宅を目指します。 ○ 民間住宅については、環境に配慮した省エネ設備、耐震診断や耐震構造等の安全・安心な住まいづくりを働きかけます。 ★ 適切に管理できていない空き家等が町民生活に影響を及ぼすことがないように、空き家等対策計画に基づき、空き家情報の提供や必要な措置の実施に加え、子育て世帯や若年層の移住・定住を促進するため、0円空き家バンクの活用や地域イベントとの連携を強化します。 ○ 土地財産の適正な管理を促し、その有効活用を図るため、地籍調査事業に取り組みます。
<p>2-2-2 公園緑地の保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子高齢化社会への対応、安全・安心なまちづくり、環境共生型社会の推進などを考慮しながら、市街地における公園緑地の機能強化を図ります。 ○ 適切な維持管理、修繕及び更新に取り組み、都市にうるおいを与え、町民の健康づくりなどに寄与する緑豊かなまちづくりを推進します。 ○ 町民・行政の協力による公園管理体制により、継続的な公園緑地の保全に努めます。
<p>2-2-3 水道事業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 配水管更新計画に基づき、優先度の高い配水管を計画的に更新し水道水の安定供給を図ります。 ○ 広報やホームページ、チラシ等を用いて、漏水確認や冬期の凍結防止を呼び掛けていきます。 ○ 私有地の水道管理に対する意識の向上に努め、不明水量を減らし水道水の安定供給を図ります。
<p>2-2-4 下水道の維持管理の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公営企業会計やストックマネジメント*計画に基づく経営により、安定した汚水処理の実施に努めます。 ○ 下水道の適正使用に関する啓発活動を推進します。
<p>2-2-5 斎場・墓地公園の適切な維持管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 斎場・墓地公園の適切な管理に努めるとともに、墓地公園の拡張を図ります。

コメント 45 Coデザ
0円空き家バンクの活用が進んでおり、若年層や子育て世帯の移住促進に効果が出ていることが確認されています。また地域イベント（AKIYAcoming など）との連携により、空き家の利活用が進んでいます。あわせてアンケート結果からも、空き家の利活用に対する期待が高まっていることが確認できていることから、情報提供に留まらない積極的な姿勢を強調しました。

コメント 46 Coデザ
★→○

個別施策

2

主な取組

- 空き家等の利活用促進
- 公園維持管理事業
- 下水道事業
- 斎場維持管理事業
- 地籍調査事業
- 水道事業
- 地下水保全事業
- 墓地公園等管理・整備事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 公園などの施設を利用する際は、ルールを守り大切に使います。
- 一人ひとりが節水意識を持つとともに、漏水等の可能性がある箇所を発見した場合は町に連絡します。
- 防犯に対するパンフレットや防犯啓発番組などを見て知識を得ます。

【地域・団体・事業者等】

- 地域で定期的に清掃やごみ拾い、草刈り等美化活動を行うほか、把握した空き家の情報を提供します。
- 地域内にある公園の維持管理を行います。
- 子どもの登下校時の見守りや声掛けを行うほか、**地域の見守り活動を通じて不審者などへの対策を行い、安心して暮らせる環境づくりに貢献します。**

関連する計画・条例等

- 上市町都市計画マスタープラン
- 上市町空家等対策計画



あさひの郷公園



丸山総合公園

コメント 47

Coデザ

重点施策では「安心・安全な暮らしの環境づくり」が掲げられており、地域の見守り活動がその一環であることを明示することで理解が深まると考えました。



2-3 交通網の整備・維持・確保



現状と課題

- 道路に関しては、上市スマートインターチェンジが開通後、地域産業の活性化や町民生活の利便性向上に一定の効果が見られています。一方で、人口減少や財政制約を踏まえ、既存道路・橋梁の維持管理の効率化や、除雪体制の強化など、生活道路の安全性確保が重要な課題となっています。今後は、地域交通の実態に即した道路整備と、災害時のアクセス確保を含めたインフラの再構築が求められます。】
- 町営バスについては、利用者ニーズへの対応、路線、便数、富山地方鉄道との接続等について調査と検証を行い、再編実証運行を経て本格運行に移行し、更なる利便性向上と公共交通の維持に取り組んできました。近年では、利用者数の増加傾向が見られる一方で、路線によっては利用が伸び悩むなど、地域間格差が課題となっています。また、少子高齢化や免許返納者の増加を踏まえ、公共交通の持続可能性を確保する必要があるとともに、将来の小中学校統合を見据えたスクールバスや地域ニーズに応じた柔軟な運行形態導入の検討が求められています。】
- 富山地方鉄道鉄道線については、人件費の高騰や枕木・老朽車両の更新費用などの増大とともに人口減を要因とする利用者の減少により、鉄道線の維持が困難となっています。町唯一の鉄道線である富山地方鉄道鉄道線を将来にわたって地域の公共交通として維持するためには、更なる利用促進を図る必要があります。

ミライの
上市

道路網の充実と地域公共交通の充実、交通安全対策により、日常生活における移動の利便性と安全性が高まっています。

数値目標

指標	基準値	目標値
町道の(舗装修繕延長)	—	2.5km (R8~R12)
町営バス利用者数【総合戦略】	45,149人	46,000人
鉄道利用者数	1,833人/日	1,900人/日
富山県・町イベントと公共交通利用促進の連携件数	21件 (R3~R6)	25件 (R8~R12)

コメント 48 Coデザ
現行は、上市スマートインターチェンジの開通直後の期待感や町営バスの再編実証運行の段階を記載していたため、現状の進展や課題に焦点を当て反映しました。

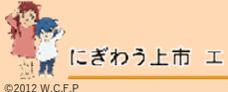
個別
施策

コメント 49 Coデザ
アンケート結果に表れた除雪に関する不満や、スクールバスと町営バスの統合が進み、利用者数が増加している一方で、路線ごとの課題があることや将来の小中学校の統合を見据えた検討が必要となってくることから、今後の方向性として明記しました。

2

コメント 50 Coデザ
当該事業はR7で目標を達成する見込みであるため終了し、R8以降は、R7策定予定の舗装施設維持管理計画に基づき、舗装の劣化が著しい区間の修繕を実施する予定であることから、数値目標としました。

施策の内容

<p>2-3-1 道路網の整備・維持管理</p>	<p>○ 上市スマートインターチェンジなどの交通結節点、公共施設へのアクセス道路、隣接市町村との連絡道路について、整備効果や重要性を踏まえた路線選定を行い、計画的に整備を進めます。</p> <p>○ 自動車や歩行者などの安全で円滑な交通を確保するため、交通安全施設の整備・設置、老朽化が進む消雪施設等の更新を進めるとともに、長寿命化計画に基づき順次、橋梁の改修・耐震化を計画的に実施します。</p> <p>★ 公共交通の利便性向上に向けて、バス路線の見直しや乗降環境の整備、スマートインターチェンジの活用促進など、地域の交通ニーズに応じた施策を検討・実施します。</p>
<p>2-3-2 持続可能な公共交通体系の構築</p>  <p>©2012 W.C.F.P</p>	<p>○ 町民や訪問者に広く公共交通機関の利用促進を図るとともに、北陸新幹線・富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道との乗継利便性の向上や情報提供の充実を主眼とした連携を進めます。</p> <p>★ 町営バスについては、利用者のニーズや利用実態を定期的に把握し、利便性と持続性に配慮した路線・ダイヤの見直しや、デジタル技術を活用した利便性向上策を検討します。また、高齢者や子育て世代など多様な住民が安心して利用できる交通環境の整備を進め、地域全体で支える公共交通のあり方を共に考えます。</p> <p>★ 将来にわたって持続可能な地域公共交通サービスを確保する観点から、富山地方鉄道鉄道線の利用促進を行うとともに沿線住民に公共交通を中心としたライフスタイルへの転換を促します。</p>

コメント 53 Coデザ
★→○ (言い回しのみ)

コメント 52 Coデザ
★ (新規項目)

コメント 51 Coデザ
バス路線の利用者増加や乗降環境の課題、スマートインターチェンジの活用など、公共交通の視点が重要です。アンケート分析結果では、除雪対応への不満や歩行者の安全確保に関する声があり、交通安全施設や消雪設備の更新が求められています。重点施策では、交通インフラの整備が「安全・安心な暮らしの基盤」として位置づけられており、道路だけでなく公共交通や歩行者空間も含めた施策が必要と考えました。

コメント 56 Coデザ
○→★ (趣旨変更)

コメント 55 Coデザ
アンケート分析結果報告書およびヒアリングにて、町営バスの利用者数は増加傾向にあるが、路線や時間帯によっては不均衡があることが判明しており、改善を明記しました。デジタル技術の活用可能性が議論されており、施策に反映すべきと考えました。鉄道連携についても、具体的な利便性向上策、「高齢者・子育て世代への配慮」など多様な住民層への対応が求められていると考えました。

コメント 54 Coデザ
★ (新規項目)

コメント 57 Coデザ
DX 施策として追加

主な取組

- 道路整備・改良事業
- 橋梁長寿命化修繕事業
- 除雪・消雪対策事業
- 鉄道施設総合安全対策事業
- 北陸新幹線・富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道との連携
- 町営バス運行事業
- 富山地方鉄道上市町内4駅周辺のにぎわい創出
- 富山地方鉄道鉄道線の利用促進事業
- 北アルプス横断道路構想の実現に向けた取組
- 町営バスキャッシュレス決済*の運用
- MaaS*アプリの活用と周知
- とやまロケーションシステムの活用と周知



町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 道路の異常箇所を見つけたら通報します。
- 地域の交通を守る意識を持ち、町営バスや予約のりあいバス、富山地方鉄道等の公共交通を積極的に利用するとともに、利用者の声を反映した路線や運行時間の改善に協力します。

【地域・団体・事業者等】

- 地域の中の移動手段を持たない町民を把握し、公共交通の利用促進に向けた声掛けや、地域ぐるみの移動支援体制の整備を働きかけます。

関連する計画・条例等

- 上市町地域公共交通計画

コメント 58 Coデザ

公共交通の利便性や利用者数の増加が課題として挙げられており、単なる「利用」だけでなく「改善への協力」も求られていると考えました。

特に町営バスの利用者数が増加傾向にある一方で、路線や時間帯に課題があるとの指摘があり、住民から声を届けることが大切であるニュアンスを盛り込みました。

コメント 59 Coデザ

移動困難者への支援が重要課題として挙げられており、単なる「声掛け」では不十分であるとの認識から、整備のニュアンスを盛り込みました。

個別
施策

2

2-4 環境の保全



現状と課題

- 町民の自然環境への意識をさらに高め、町ぐるみで地球温暖化対策やエネルギーの有効活用、ごみ削減等に取り組むことが大切です。本町は剣岳をはじめとする豊かな山や森、水といった自然環境に恵まれており、環境を保全する意識の向上と環境配慮行動及び美化活動を継続的に促すことが大切です。ごみの排出量は減少傾向にある一方で、リサイクル率は依然として横ばいであり、特に地域における資源回収活動の再活性化が課題です。また、事業所や農家への公害の未然防止や、再生可能エネルギーの導入促進など、地域全体でのエネルギー施策の強化が必要です。

ミライの 上市

町民一人ひとりが地球温暖化対策、環境保全に主体的に取り組むことで、美しいまちの自然と暮らしを未来へとつなげていきます。

数値目標

指標	基準値	目標値
家庭ごみの年間排出量	5,080.2 t	5,000 t 以下
ごみのリサイクル率	17.5%	23%以上
温室効果ガスの削減率	1.9%減 (H28 比)	4.0%減 (H28 比)

施策の内容

2-4-1 地域資源を活かした持続可能な環境づくり	○ 生活に欠かせない水環境・水循環については、上下水道の安定供給体制の強化とともに、水質調査の継続による河川・地下水の健全な保全を図り、災害時にも対応可能な水インフラの整備を推進します。
	○ 農地や人工林などの里地里山は、担い手の育成と地域資源の活用を通じて持続可能な農林業を展開し、環境保全と地域経済の両立を図ります。
	○ 生物の多様性については、有害鳥獣への適切な対策を図りながら、地域固有の生態系の保全を推進します。

コメント 60 Coデザ

コロナ禍の影響で学校での資源回収活動の中止により、リサイクル率が伸び悩んでいる点も、今後の課題として盛り込みました。また総合計画骨子において、再生可能エネルギーの導入支援や省エネ化の推進が明記されているため、導入促進についても触れる内容に変更しました。

コメント 61 Coデザ

「できることを実践」という表現はやや曖昧なため、「主体的に取り組む」とすることで、町民の自発的な行動を促す意図を強調しました。

コメント 66 Coデザ

○ (言い回しのみ)

コメント 62 Coデザ

施策の多様性とともに、総合計画では保全だけでなく活用・継承・地域活性化も含まれることから「環境づくり」という表現に変更しました。

コメント 65 Coデザ

○ (言い回しのみ)



©2012 W.C.F.P

	<p>★豊かな自然環境を後世に引き継ぐため、地域資源を活かしたエコツーリズムの推進と情報発信力の強化により、地域資源の魅力を広く伝え、交流人口の拡大と地域社会の活性化を図ります。</p>
<p>2-4-2 循環型社会の形成に向けた ごみ対策の推進</p>	<p>○ごみの減量とリサイクル率の向上に向けて、ライフスタイルの見直しや分別ルールの周知を強化し、町民・事業者の協働による循環型社会の形成を推進します。</p> <p>★食品廃棄物の削減に向けて、事業者へのリサイクル・飼料化の支援と、教育機関での食べきり運動の再構築を図り、地域全体での食品ロス対策を強化します。</p> <p>○役場におけるグリーン購入*の徹底と、町民・事業者へのリサイクル製品導入支援を通じて、地域全体での環境配慮型消費行動の定着を図ります。</p> <p>○ごみの持ち帰り運動の定着と、不法投棄の監視体制強化に加え、地域住民の参加による美化活動を推進し、ポイ捨てや不法投棄などの未然防止と環境意識の向上を図ります。</p> <p>★「災害廃棄物処理計画」の適切な運用に加え、平時からの備蓄・訓練・情報共有体制を整備し、災害時の迅速かつ安全な廃棄物処理を実現します。</p>
<p>2-4-3 持続可能な環境共生型まち づくりの推進</p>	<p>○町民や事業者・教育機関を対象とした地球温暖化対策に関する実践的な環境教育と行動変容を促す啓発活動を展開し、地域全体での意識と取り組みの定着を図ります。</p> <p>○企業・団体・地域住民との協働による環境活動を推進し、地域資源の保全と持続可能なまちづくりを支える仕組みづくりを進めます。</p> <p>○有害物質による生活環境への影響を防ぐため、水・大気・土壌のモニタリング体制を強化し、迅速な対応と情報共有を通じて未然防止に努めます。</p> <p>○国や富山県のエネルギー施策に関する情報を収集し、必要に応じてエネルギー対策の支援を行い、日常生活や事業活動から生じる温室効果ガス削減に取り組みます。</p> <p>★再生可能エネルギーの導入支援に加え、建築物の省エネ化・断熱性能向上を促進し、地域全体での脱炭素化と快適な住環境の両立を図ります。</p>

個別施策

2

コメント 64 Coデザ
★(趣旨変更)

コメント 63 Coデザ
総合計画において水質調査の継続だけでなく、災害対応やインフラの強靱化が求められていることから追記しました。地域資源の活用による経済的側面の強調する内容に変更しました。有害鳥獣の増加が深刻化しており、「科学的・持続的」な対策が必要であり、生態系保全にはモニタリングや地域参加型の活動が求められていることを踏まえ修正しました。総合計画では、「訪れたい・会いたい人がいるまち」づくりが掲げられており、交流人口の拡大が重要な視点であることから追記修正しました。

コメント 67 Coデザ
総合計画では、これらの要素は「循環型社会の形成」という上位概念の一部として位置づけられていることを施策名に反映しました。

コメント 68 Coデザ
総合計画では「ライフスタイルの見直し」や「分別ルールの見直し」が課題として挙げられていることを踏まえ、表現を変更しました。学校での資源回収や食べきり運動が中断された影響について踏まえて修正しました。総合計画では、単なる啓発ではなく「支援」や「制度的な後押し」が必要としていることから表現を変更しました。総合計画では、地域での清掃活動や空き家情報の共有など、住民参加型の美化活動が重視されていることを盛り込みました。総合計画では災害時の対応力強化を重点施策としていることから、平時の準備・体制整備についても盛り込みました。

コメント 69 Coデザ
総合計画では、地球温暖化対策、再生可能エネルギー導入、環境教育、生活公害の未然防止、企業との連携など、具体的な施策が含まれることも踏まえ、SDGsや環境基本計画との整合性を意識した表現に変更しました。

コメント 71 Coデザ
★(趣旨変更)

コメント 70 Coデザ
総合計画では、単なる知識の普及ではなく「行動変容」や「地域ぐるみの取り組み」が重視されており、教育機関との連携も追記しました。地域資源の活用や持続可能性の視点が強調されており、単なる「推進」ではなく「協働による仕組みづくり」について盛り込みました。「モニタリング体制の強化」や「情報共有」のニュアンスにしました。

主な取組

- リサイクル推進事業
- 一般廃棄物等収集・運搬事業
- 一般廃棄物処理事業
- 花と緑の景観づくり事業
- 不法投棄監視事業
- ペレットストーブ導入促進事業
- スポ GOMI 大会開催事業 (上市町環境保健衛生協会)



スポ GOMI 大会 in 上市



環境チャレンジ 10 (小学校授業風景)

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- ライフスタイルを見直し、ごみの減量や分別・リサイクルに取り組むとともに、地域全体で不法投棄の防止や外国人住民へのルール周知を進めます。
- 地球温暖化問題への理解を深め、エコ製品の購入や省エネ活動に積極的に取り組み、地球にやさしい暮らしを実践します。

【地域・団体・事業者等】

- 地域や学校、職場で地球温暖化問題に関する情報を共有します。

関連する計画・条例等

- 第2次上市町環境基本計画
- 上市町災害廃棄物処理計画
- 上市町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
- 上市町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
- 上市町環境基本条例
- 上市町ゼロカーボンシティ戦略



不法投棄等環境パトロール



大岩地区の自然

コメント 72

Coデザ

外国人住民へのゴミ出しルールの周知を具体的に盛り込み、地域全体での取り組みとし、個人の努力に依存する表現から、地域や行政の支援・連携を含んだ表現に変更しました。



2-5 地域情報化・情報と魅力の発信



現状と課題

- デジタル化は町民生活のあらゆる場面に浸透し、行政サービスや地域活動にも不可欠な要素となっています。町民の情報技術への理解と活用力を高めることが、地域の持続可能性と利便性向上に直結する時代となっています。
- 本町では、ケーブルテレビ網を基礎としたイントラネット設備*を平成14(2002)年に整備し、庁舎と公民館や公共施設などを光ファイバで結んでいます。このネットワークは、日常業務での連絡手段のほか、災害時において迅速な情報の伝達・集約を行うためには非常に重要なインフラです。しかし、ケーブルテレビ網を基礎としたイントラネット設備は、災害時の情報伝達に有効である一方、近年のクラウド技術*やモバイル通信の進展により、柔軟かつ効率的な情報基盤への移行が求められています。今後更新を行う際にはその役割・在り方について整理・検討した上で、時代に適したものとして整備することが要求されています。
- 本町では、町政運営に関する情報を町民に伝えるため、「広報上市」やホームページなどを通して情報発信を行っています。必要な情報を正確に、かつ迅速に伝えるためには、職員の対応だけでなく、メディアミックス*などを十分に考慮し、効率的に行うことが重要です。なお、インターネット上に展開される自治体の情報については、SNSや動画配信、AIを活用した広報手法が普及する中、町民が正確な情報を選択・活用できるよう、情報リテラシー教育とともに、行政による信頼性の高い情報発信体制の強化が必要です。
- また、行政情報は、幅広く公平に伝達することが基本ですが、SNSやスマートフォンアプリを活用した情報発信は、町民との双方向コミュニケーションを可能にし、行政サービスの質向上に寄与しています。一方で高齢者層に向けた情報発信には課題もあり、今後は、利用者層の拡大と情報のパーソナライズ化も求められます。確実に伝えることで、行政サポートをより手厚いものとするのも現代では既に一般的であり、積極的なデジタルツールの導入が望まれます。
- こうした情報化の進展に伴い、セキュリティの確保といった問題も発生します。コンピュータウイルスなどのマルウェア*を巧みに利用し、大切な個人情報や資産を盗み取ろうとする動きなどが後を絶ちません。情報リテラシーの啓発に加え、個人情報保護やサイバー攻撃*への対応力を高めるため、町民・職員双方への継続的な教育とシステム強化が不可欠です。

ミライの上市

安全性の高い情報基盤と多様なコンテンツが整備され、町民一人ひとりが必要な情報を、必要なタイミングで入手できる環境が整っています。

個別施策

2

コメント 73 Coデザ

アンケート分析結果や内部ヒアリングでは、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進やLINE・スマホアプリの活用、情報発信の多様化が進んでおり、単なる「意識改革」ではなく「実践的な活用力」が求められていると推察されるため、表現を変更しました。

LINEやYouTubeの活用、AIによる広報支援が進んでおり、単なる「学び」ではなく「体制整備」が重要視されると考えられるため、表現を変更しました。

アンケート分析では、若年層の情報満足度が高い一方、高齢層では課題が残っており、情報の届け方について盛り込みました。

情報化DX推進に伴うセキュリティ課題については町民だけでなく職員の対応力も問われることから表現を追加しました。

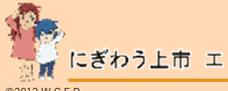
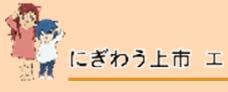
コメント 74 Coデザ

抽象的な表現を整備といった文言にすることによってより政策的な取り組みや成果を明確にする表現に変更し、将来的なイメージが明確になるような表現に変更しました。

数値目標

指標	基準値	目標値
上市町 LINE 公式アカウント友だち登録者数	3,254 人	8,000 人
上市町公式 YouTube チャンネル登録者数	1,621 人	2,400 人

施策の内容

<p>2-5-1 デジタル環境の最適化と地域情報インフラの強化</p>  <p>©2012 W.C.F.P</p>	<p>○ 道路や農道・林道などといった非居住エリアでの移動通信のニーズに対し、民間と協力して不感地帯の解消に努めます。</p> <p>★ 個人ごとの興味に合わせた分野の情報を町からプッシュ型で積極的に配信するとともに、緊急度・重要度の高い情報を迅速かつ確実に住民へ伝達するため、上市町LINE公式アカウントを基盤とした町のデジタル総合窓口「スマホ役場」の利用促進を図ります。</p> <p>★ 町が保有する官民データについて、個人及び法人の権利利益等が害されることのないようにしつつ、町民や多様な事業者がインターネット等の高度情報通信ネットワークを通じて容易に利用できる基盤を整備し、住民の生活の質の向上と事業者の生産性の向上、新事業の創出促進を図ります。</p>
<p>2-5-2 地域の魅力と行政情報を伝える戦略的メディア発信の推進</p> 	<p>★ 広報やホームページ、SNS等の媒体や、PRキャラクター「つるぎくん」、公式アンバサダー*、観光大使など多様な手段を活用し、町の実績や計画を、町内外に対して戦略的かつ継続的に発信し、説明責任と信頼性の向上を図ります。</p> <p>★ 本町の魅力が伝わる表現やストーリーを活用し、ホームページやSNS、動画などで継続的に発信することで、町民の誇り（シビックプライド）の醸成と、関係人口・交流人口の拡大を図ります。</p> <p>★ デジタル社会に対応するため、職員の情報発信力向上に向けた実践的な研修と、庁内の情報基盤の整備・DX推進を通じて、迅速かつ効果的な情報提供体制を構築します。</p>
<p>2-5-3 デジタル環境に対応した地域生活力の向上</p>	<p>○ 児童・生徒や高齢者を対象に、情報リテラシーの向上とデジタル機器の活用支援を通じて、誰もが安心してデジタル社会に参加できる環境を整えます。</p> <p>★ ホームページやSNSなどを活用し、インターネット上のセキュリティインシデント*情報をタイムリーかつ分かりやすく提供し、町民の安全な情報利用を支援します。</p>

コメント 75 Coデザ
総合計画骨子では、スマートインフラ、職員の情報発信力向上など、具体的な施策が複数展開されていることを踏まえ、情報基盤ではなく、デジタル環境や地域インフラとしています。
またアンケート分析では、情報取得手段の多様化により、町民間の情報格差や満足度の差が顕在化しており、単なる設備整備ではなく、環境の最適化と支援体制の強化としました。

コメント 77 Coデザ
★ (新規項目)

コメント 76 Coデザ
★ (新規項目)

コメント 82 Coデザ
★ (趣旨変更)

コメント 78 Coデザ
多様な取り組みを包括する表現に変更しました。

コメント 81 Coデザ
★ (趣旨変更)

コメント 80 Coデザ
★ (趣旨変更)

コメント 79 Coデザ
SNSや動画配信の活用が進んでいることから追記したうえで、総合計画において情報発信力の強化と町の魅力の可視化が重要視されていることを踏まえて変更しました。
総合計画において交流人口の拡大を目標としていることを踏まえて追記しました。
職員のICTスキルや情報発信力に格差があることを踏まえ、明示する内容としました。また、総合計画でも庁内の情報基盤整備と職員研修の強化が明記されており、単なる「充実」ではなく「構築」や「推進」という記載に変更しました。

コメント 86 Coデザ
○ (言い回しのみ)

コメント 83 Coデザ
総合計画では、子ども・高齢者・障がい者など多様な層に対する情報リテラシー向上や、行政手続きのデジタル化支援が含まれていることからより具体的な表現に変更しました。

コメント 85 Coデザ
★ (趣旨変更)

コメント 84 Coデザ
SNSの活用の取り組みを明示するとともに、一部情報発信の戦略性や即時性が課題とされていることを踏まえて変更しました。



主な取組

- 「上市の魅力」発信事業
- PRキャラクター等の活用推進事業
- 広報DX
- 行政サービスオンライン化
- デジタルデバйд対策

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 情報リテラシーを向上させ、目的に応じた情報サービスの活用力を育み、地域活動や生活に活かします。
- まちづくりに関する情報や映像の発信・共有に主体的に取り組み、地域の魅力や課題を広く伝えます。

【地域・団体・事業者等】

- 広報紙、インターネット、SNS等を活用し、イベント情報や上市町の魅力をわかりやすく発信します。
- 社会情勢に応じて、誰もが使いやすい環境を整えながら、オンライン会議等の活動のデジタル化を進めます。



上市町マスコットキャラクター「つるぎくん」
& 町公認アンバサダー「三太くん」



スマホ役場 PR キャラクター
「かみいちマスコッツ」

コメント 87 Coデザ
DX 施策として表記修正

コメント 88 Coデザ
DX 施策として表記修正

コメント 89 Coデザ
DX 施策として追加

コメント 90 Coデザ
総合計画骨子でも、情報化の推進において「町民目線での情報提供」が重視されており、双方向性や実践的な活用を盛り込んだ表現としました。
総合計画では「町民・団体・事業者が主体的にまちづくりに関わる」ことが強調されており、協力の枠を超えた参画の表現としました。

コメント 91 Coデザ
注力している SNS 等の活用を盛り込んでおります。
総合計画でも「誰もが使える情報基盤の整備」について盛り込まれることから、追記しました。

個別施策

2